



ひろとも通信 2023年夏号



みなさん こんにちは

室蘭にも夏が来ました。お元気にされていましたか？6月28日に第2回定例会が終了しました。今回の議会は市政方針に対する代表質問や、新人議員の一般質問、政策予算の審議等が行われ、物価高騰対策など、さまざまな内容が議論されました。

4月の市議会議員選挙は、戦後初の無投票。「どんな人が議員なのか分からない」という声も聞きます。議会と行政は二元代表制であり、お互いに意見を闘わせることが大切。そこに市民のみなさんの意見をどれだけ反映させることができるか、市民に選ばれた首長と議員の力量が問われると思います。

高齢になっても室蘭に住み続けたい、室蘭に暮らしたい、子育てしたい・・・そのようなまちを創って

いくためには、皆で議論を重ねていく必要があります。その先に住みたいと思えるまちが続いていると考えています。行政だけに任せることなく、市民が関わることで、私たちの室蘭は変わっていくと思います。

これからの4年間も、市民の皆さんとともに、先人が築いてきた室蘭をよりよくしていくために精一杯頑張りますので、忌憚のないご意見をお寄せいただけたらと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

6月

予算委員会質問

【同性パートナーシップ制度】

室蘭市では、来年度からスタート予定。そのための検討委員会を7月に設置。メンバーは、学識経験者、関係団体、市民公募で合計5名。パブリック

コメント（市民からの意見公募）を経て3月までに制定。

また、7月からは性の多様性に関する相談窓口を地域生活課に設置。

LGBT理解増進法については、当事者からも心配や不安の声があるが、市としては生きづらさを緩和するためにも、講演会等を通じて家庭や学校、地域社会への理解促進を図る。



【フェリー就航】

10月2日から津軽海峡フェリーが就航。今年度の歳入は2千737万5千円、歳出は3千19万7千円で、差引マイナス2百82万2千円。来年度以降は収支均衡が図られる。

フェリーターミナルの委託料については、前回約2千5百万、一方今回は約8百40万円。その違いについては、前回は船社の進出意欲を阻害しないために、船社から入

る使用料の一部を委託料に上乗せするという処理がされていた。今回は、係留施設使用料の30%相当額をフェリーターミナル使用料から当面の間減免することで、安定就航のために支援する。

【高砂ベンゼン関係】

今まで以上に迅速かつ丁寧・誠実に対応するために、水道部の公営企業管理者を単独で配置。

令和4年度に発生した費用は約4千万円。令和5年度は約1千7百万円。これらの経費は弁護士を通じて事業者側と協議中。

市道の地下水等汚染箇所は6区画。汚染範囲特定のための追加調査については、事業者と協議中。

ベンゼン被害者の会が求める調査範囲と異なる場合は、市が支援することを求めた。

詳しくはHPで



室蘭市議会議員 滝口 紘子

〒051-0011 室蘭市中央町3-6-5 フルミチビル 3F-B ☎060-1140-5873

mail : takihiro@crest.ocn.ne.jp HP <https://taki-hiro.com>



会派視察に行ってきました～7/3・4

埼玉県草加市 リノベーションのまちづくり

中央町の再生は室蘭市の喫緊の課題ではありますが、なかなか進んでいません。「リノベーションのまちづくり」というのが全国各地で行われており、今回は草加市を視察。リノベーションのまちづくりとは、今ある資産を活用して自治体の都市・地域経営課題を解決していくこと（リノベリングHP）。

草加市はベッタウンのため人の入れ替わりが激しく、まちへの愛着をもつ人の少なさや、週末の買い物は市外に行く市民が多いため域内の経済循環率が低い、それを解決するためには、地域密着ビジネスを育てることが必要だと考えたとのこと。



専属の職員を配置して商店会等とも信頼関係を築き、リノベーションスクールだけではなく様々な事業を展開。事業で10社、波及効果で25社、家守会社も5社誕生。地価も上昇し、不動産会社のHPにも記載されるなど注目もされている。

中央町は老朽建物の対応が必要であり草加市とは状況が異なるが、専門部署・職員の配置と長期的な取組・予算確保をしていく必要がある。

茨城県守谷市 学校教育改革

「形を変えて、意識を変える」町田教育長は、時間の枠を作った上で教師の働き方について話しをすることが大切だと考え、「守谷型カリキュラム・マネジメント（通称カリ・マネ）」を実施。6時間授業を週2日にすることで、教師の時間を確保。部活動も5時間授業の日は50分×2コマ、6時間授業の時は50分1コマに。そのことは子ども達の疲労の軽減と集中力アップに繋がり、部活動も成果を上げているとのこと。このカリ・マネに加え、市が独自で教師や支援員等を配置（予算は約3億！）。学力は県内トップ。その他不登校支援のフリースペースや守谷型ラーニングスタイル等様々な取組を進めている。

教師の働く環境が改善されると、子ども達にとっても良い影響が生まれる。きっと守谷で教師になりたい人、子育てしたいと思う人は多いだろう。室蘭市でもカリ・マネを導入できるのではないかと思う。まずはそこから提案していきたい。

